



かない やすひろ
さいたま市議会議員
 (西区選出) **金井康博**

市政レポート ～第3号～

**西区生まれ、西区育ち。若さ、行動力を最大限に！
 市民の声をスピーディーに！！**

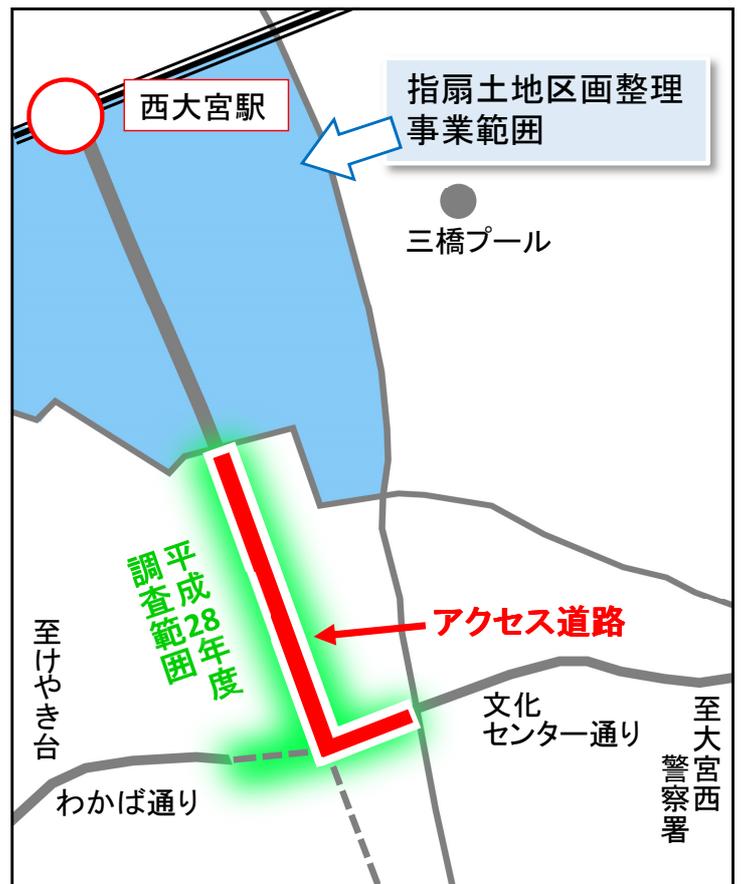
**JR西大宮駅南側の
 指扇土地地区画整理事業
 アクセス道路整備へ**

西大宮駅周辺地域にて、JR川越線を挟み、北側は都市再生機構施行による大宮西部特定土地地区画整理事業、南側は平成17年度からさいたま市施行による指扇土地地区画整理事業が施行されています。

平成27年度末の事業費ベースでの進捗率は、大宮西部特定土地地区画整理事業では約92%、指扇土地地区画整理事業では約22%です。

指扇土地地区画整理事業ですが区画整理地内外をつなぐ道路は幅員が4メートル程度の生活道路しかなく、地域の利用に加え西大宮駅への送迎の利用といったこ

とも増えていること、近隣小学校の通学路ともなっていることから、当該道路の混雑や安全確保が大きな問題となってきました。このことから区画整理地外の道路整備を進めるべきであると質問したところ、今年度からアクセス道路整備の調査に着手するとの事でした。(質問詳細は2面にて)



さいたま市議会 定例会において 市政に対する一般質問を行いました



さいたま市全体に係る問題や西区に係る問題など、市民の生活や、未来のさいたま市についての質問をさせて頂き、答弁を頂きました。

1 指扇土地区画 整理事業について

【金井康博質問】

指扇土地区画整理事業は幅員の大きな道路に接していないため大型車両が入ってこられない。

西大宮駅南口から南へ延びる都市計画道路の指扇中央通線を区画整理事業地区外へ延長していくと、大宮西警察署からイオン大宮西店前を通る市道の文化センター通りが交差するようになり、これらと認識しているが、これらの道路整備をすることで、大型車両の進入ルートとなり得る道路になると考えられるが。

【都市局長答弁】

西大宮駅から南へ延伸する都市計画道路の指扇中央通線については、区画整理地区外の具体的な整備計画は立てられていない状況となっている。

地区西側の調節池、あるいは都市計画道路等の大規模工事を行うためには、御指摘のとおり大型車両の通行、あるいは大型重機の搬入路の確

2 学校飼育動物 について

【金井康博質問】

市内の小学校などでは、鳥やウサギなど多くの動物を飼っている。家で動物を飼える環境、飼えない環境の児童関係なく、交代で餌をあげたり飼育小屋を清掃したりしていく中で動物に触れ、命の大切さ、育てていくことの大変さ、思いやりの心などを学ぶことができる。

しかし、動物たちが病気、けがをしてしまうことがある。学校飼育動物と地域獣医師との連携をどのようにとっていくのか。

【教育長答弁】

動物と直接触れ合う子供たちの健康、安全を確保するために、埼玉県獣医師会さいたま支部の獣医師の方々に御協力をいただいている。

獣医師の方々に教育委員会の指導主事が一緒に同行し、各学校を巡回し、飼育動物の健康診断を実施している。各学校における飼育動物の健康状態の診断や簡単な治療、あるいは飼育環境についての点検及び各学校への指導、助言を獣医師の方々に行っていただいている。各学校で飼育動物の診察が必要となった場合には、獣医師の方々に、学校飼育動物の治療をお願いし、治療費については診察いただいた獣医師からの請求に基づいて、教育委員会が直接獣医師の方々と相談してお支払いをしている。

【金井康博質問】

獣医師会から、自分たちもかなり負担になっているというようなお声も聞いているが。予算に関して財政的な支援をしていただきたいと思うが。

【財政局長答弁】

予算の確保と執行につきましても、最善の対応ができるように教育委員会と協議をした上で対応していく。

【教育長答弁】

獣医師会のほうの負担部分も多少あると考えている。引き続き財政局等としっかりと連携しながら、最善の対応ができるように協議をしていく。

3 ペットとは



【金井康博質問】

ひとり暮らしや核家族が増える中、ペットというのは家族であると考えているが、市はペットとはどういった存在であると考えているのか。

【保健福祉局長答弁】

従来、愛玩動物として考えられ、人の心を癒やす存在として大切に育てられてきた。しかしながら、近年の核家族化や少子高齢化を背景とする中で、動物を単なるペットとして飼育するということだけではなく、家族の一員である伴侶動物と考える方が増えてきている。このような

ペットは、飼い主にとってかけがえない存在と考えている。

4 ペットとの同行避難について

【金井康博質問】

ペットの避難について、熊本地震の報道でもたくさん取り上げられ、ペットを連れて避難所に行ったところ、ほかの方とのトラブルを避けるために、屋内の施設に入れないなどの事態が発生したと認識している。同行避難は必要であると考えますが、避難所に入れないということのないように、例えば公民館区単位であるとか、各区に1カ所ずつでもペットと家族と一緒に避難できる避難所が必要ではないかと考えるが。

【保健福祉局長答弁】

被災動物を放置することで、その後の保護・給餌活動が困難となった。飼い主が世話のために自宅に戻り二次災害に遭う危険もあり、これらを防止するためにペットを同行して、まずは避難することが重要と認識している。

ペットは家族の大切な一員であるということを見ると、熊本市の事例をはじめとした先例を参考に、飼い主が安心してペットと避難できるように各区にそれぞれの状況において、ペットと同居できる場所の設置について課題を整理し、地域防災計画改定に向け専門家の御意見を伺いながら検討していく。

5 災害時の対応について

【金井康博質問】

災害の少ないさいたま市と言われているが、さいたま市における風水害、雪害の防災計画整備がどのようになっているのか。

【清水市長答弁】

さいたま市地域防災計画では、本市域を対象とする大雨や洪水、大雪などの気象警報が発表された場合には、危機管理部や建設局などの関係部署の職員が参集し、まず準備態勢を整える。

台風の接近、市域内の積算雨量や河川水位が一定の基準を超えるなど、被害のおそれがある場合には風水害警戒本部を、また特別警報が発表されるなど、大きな被害の発生が見込まれる場合には、市長をトップとする災害対策本部を設置して、雨量、水位情報の収集、また道路被害等への応急措置、避難所の開設などの災害対応に当たる。

平成27年関東・東北豪雨において、常総市で避難勧告の発令が遅れたことで被害を大きくしてしまった事例を受けて、本市では避難の時期、また区域を適切に判断するための水害対応チェックリストを策定して、その上で気象状況などの各レベルに合わせて、気象台、荒川上流河川事務所、そして市、市民等のそれぞれの役割を記載したタイムラインを昨年度中に策定した。

このタイムラインの活用により計

画的に市民に情報提供することで適切な避難行動につなげるなど、大規模水害の発災前から関係者が迅速かつ的確に対応していく。

6 障害者スポーツの振興について

【金井康博質問】

スポーツは誰もが楽しめるものではなくてはならない。

昨年度さいたま市のスポーツ施策の基礎と言えるさいたま市スポーツ振興まちづくり計画の見直しが行われたが、障害者スポーツ部分に関してどのように改定が行われたのか。

2月定例会においてスポーツ施策の新たな取り組みとして、関係条例が上程され可決したスポーツ振興基金について、基金の使い道として検討している内容や方向性と、障害者スポーツへの支援も含めるべきと考えるが見解は。

【スポーツ文化局長答弁】

計画の施策体系における基本施策の柱の一つに障害者スポーツの振興を据え、スポーツを通じた障害者の社会参加及び障害に対する理解を促進することとした。

次に「するスポーツ」活動の現状と課題の部分において、新たに障害者等のスポーツ参加の項目を加え、全ての市民が障害の有無や、障害の種類・程度を超え、スポーツを通じて交流する機会が増えていることを示した。

また「支えるスポーツ」活動の現

状と課題の部分においては、スポーツ推進委員やスポーツボランティアと同様の並びで新たに障害者スポーツ指導員を明記し、障害者にスポーツの楽しさや喜びを伝えるために必要な人材であることを示した。

スポーツ振興基金の使い道として本市の次代を担う小中学生のスポーツ活動に対する支援のほか、オリンピック・パラリンピックに向けた支援の2つの大きな柱を念頭に置いて検討している。

そのうち障害者スポーツの支援として、パラリンピック強化指定選手を対象とした支援事業等を検討している。



さいたま市議会定例会において市政に対する一般質問の状況。

外観のイメージ（敷地の南東側から）



さいたま市立中等教育学校（仮称） 整備事業がスタート

現在のさいたま市大宮区三橋にある、さいたま市立大宮西高等学校が、中学校に相当する前期課程と、高等学校に相当する後期課程を一つとする、6年制の学校として中等教育学校に改編されます。

さいたま市立中等教育学校（仮称）整備事業は、PFI手法にて整備してまいります。「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）」第12条の規定に基づき、議会の議決を経て、次のとおり特定事業契約を締結しました。

事業名称…さいたま市立中等教育学校（仮称）整備事業
契約の相手方…株式会社さいたまホームユナイテッド
 ※株式会社さいたまホームユナイテッドは、落札者であるユーディケールグループの構成員等が出資し設立したSPC（特別目的会社）
契約金額…8,452,104,688円（消費税及び地方消費税を含む）
契約締結日…平成28年10月21日
契約期間…平成28年10月21日～平成49年3月31日
 ※平成31年4月開校

PFI (Private Finance Initiative) とは、公共サービスを市民に提供するための新しい事業方式です。民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して公共施設等の建設、維持管理、運営等を行うことにより、質の高いサービスをより少ない財政支出で提供するものです。PFIの目的は、「市民が支払う税金(Money)に対して最も高い価値(Value)を提供する」こと、いわゆるVFM(バリュー・フォー・マネー)の実現にあります。



「ふれあい広場」のイメージ

「平成28年9月定例会議案説明資料より」※これらのイメージ図は提案審査時に提出された物であり実際と異なる場合があります。

●市民の皆様からのご意見・ご要望をお寄せください●

自由民主党さいたま市議会議員団 金井康博
 〒331-0059 さいたま市西区水判土231-5

TEL 048-788-2420

FAX 048-788-2421

E-mail: voice@kanai-nishi.com

HP: 「金井やすひろニュース」で検索



金井康博

〈生年月日〉
 昭和48年1月6日 現さいたま市西区生まれ

〈経歴〉

昭和63年大宮市立植水中学校卒業

平成3年埼玉県立浦和東高等学校卒業

平成9年東洋大学工学部土木工学科卒業

平成9年㈱ガイアートクマガイ入社

平成14年退社

平成14年㈱イマキイレ入社

平成27年退社

平成27年4月さいたま市議会議員選挙初当選

〈家族〉
 妻、長男、長女、次男、ねこ2匹

○さいたま市議会 所属委員会

○文教委員会

○所管事項・スポーツ文化局及び教育委員会に関する事項

○大都市行財政将来ビジョン特別委員会

○企業会計予算決算特別委員会